

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第33週(令和8年8月10日～令和8年8月16日)

<発生動向>
第33週はお盆休み期間であったため、ほとんどの定点把握疾患の報告数が減少していますが、インフルエンザの定点当たりの報告数は0.96(前週の約2倍)と増加しています。咳エチケットやこまめな手洗いなどの感染対策を心がけましょう。
全数把握疾患では、腸管出血性大腸菌の報告が2件ありました。腸管出血性大腸菌に感染した場合、全く症状のないこともあります。子どもや高齢者では、重篤な合併症を起こすことがあり、時には死に至ることもあります。腸管出血性大腸菌は、牛など動物の腸管にいる菌で、生のままか加熱不十分な肉や菌に汚染された食品を介して感染します。この菌は加熱により死滅します。調理する際は、「中心部までしっかり加熱」、「生肉を触った Tongue で焼いた肉を取り分けず」、「生肉を扱う箸と食べる箸を分ける」ようにしましょう。調理前、生肉を触った後、食事前、排せつ後、おむつ替え後は石けんと流水でよく手を洗いましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	2	100	15	495	249	8,902
腸管出血性大腸菌感染症	2	26	4	137	143	2,121
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	8	2	40	14	608
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	14	2	40	19	815
侵襲性肺炎球菌感染症	1	17	2	84	18	1,816
梅毒	1	78	2	444	152	7,040

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	16	0.70	0.78	89	0.73	6,578	1.79
インフルエンザ	22	0.96	0.48	57	0.47	1,926	0.52
急性呼吸器感染症	742	32.26	45.39	3,095	25.37	161,935	44.08
RSウイルス感染症	14	1.08	1.62	95	1.36	1,417	0.64
咽頭結膜熱	6	0.46	1.08	32	0.46	604	0.27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.69	1.62	75	1.07	2,880	1.30
感染性胃腸炎	59	4.54	8.00	183	2.61	7,674	3.46
水痘	8	0.62	0.00	24	0.34	555	0.25
手足口病	7	0.54	1.00	44	0.63	10,403	4.69
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	0	0.00	85	0.04
突発性発しん	1	0.08	0.23	15	0.21	652	0.29
ヘルパンギーナ	4	0.31	0.54	34	0.49	2,915	1.31
流行性耳下腺炎	1	0.08	0.00	1	0.01	73	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	5	0.19	1	0.00
流行性角結膜炎	2	0.33	1.00	34	1.31	337	0.50
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	3	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	1	0.07	24	0.05
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	192	0.40
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	6	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	1	0.00

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。
※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。
○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。